

苦土・マンガン・ほう素 入り液肥

新発売

たくみ
苦土の匠

10kg 入り

苦土	マンガン	ほう素
10%	0.26%	0.15%

製造：大東肥料株式会社

苦土の匠の特徴

※本剤は「液肥」として水に混合するだけで簡単に調整可能で、水に溶かす手間が省けます。

※葉面散布の他に、灌水同時施用、水耕栽培等における苦土・ほう素・マンガンの補給に利用できます。

※「苦土」は、葉緑素のもとになる重要な養分です。本剤を葉面散布することで、苦土が速やかに吸収され、欠乏症状の早期改善が図れます。また、葉緑素の増加と光合成の促進に効果的であり、生育・収量の増加と品質向上が期待できます。

※作物に不足しがちな微量元素である「ほう素」、「マンガン」も同時に補給することができます。

苦土の匠の使用例

※葉面散布の場合

作物	希釈倍率	一般的な施用例	苦土欠乏対策の施用例
野菜類	100～200倍 苦土の匠10kgを 水1000リットル～ 2000リットル に混合	育苗期～定植期～果実肥大期・ 葉重増加期・結球期 生育期全般の樹勢維持	苦土欠乏症の改善策として使用する場合、 7～10日おきに、 3～4回散布し、様子を見る。
果樹		萌芽期～開花期～果実肥大期	
花き		育苗期～定植期～花芽分化期	
茶		新芽萌芽期前	
芝		緑化期、刈り込み後の再成長期	

・展着剤を加えると、より効果が期待できます。

・高温時や高濃度液の散布は作物に障害が出やすくなります。希釈倍率に留意してください。

※灌水同時施用の場合

ハウス栽培で灌水と同時に施用する場合、作物の生育状況を見ながら（月1回程度）、苦土の匠の50～100倍液を適量施用します。苦土の匠10kgで500～1000Lの灌水量になります。

※ 施用は、上記以外でも栽培期間を通して定期的に散布することで、より効果が期待できます。使用銘柄及び希釈倍数は、作物、作型、生育状況に応じ、選択・調整してください。

苦土の匠の使用上の注意

- ・本剤を肥料以外の用途には使用しないでください。
- ・アルカリ性の農薬や資材とは混用しないでください。
- ・農薬と混用する場合は混用可否について確認のうえ、農薬の使用上の注意事項を守ってください。
- ・灌水チューブの種類により目詰まりを起こす場合があります。チューブ内の定期的な洗い流しや最後の水通しを行ってください。また、希釈した液は使い切ってください。
- ・保管は密栓し、直射日光を避け、凍結しない場所に保管してください。
- ・幼児の手の届く場所に置かないでください。飲み物ではありません。散布時も目や口に入らないよう注意してください。
- ・誤って目に入った場合は、こすらず流水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。

※この肥料の施用にあたっては、取り扱い所に御相談ください。

製造：大東肥料株式会社